

健康管理と治療へのPHR活用を目指して

両立支援政策への適用

主催：一般社団法人PHR協会 後援：日本医療情報学会、東京都医師会

近年の少子化と産業構造の急激な変化から、労働力は世界に類を見ないほど高齢化・流動化し、生活習慣病の保有者・予備軍が著しく増加してきました。このような時代に対応し、本人の健康状況を職域・地域と継続的に把握し、「自分の健康は自分で守る」仕組み作りが進んでいます。さらに、がん等の継続的な治療と就業の両立支援^{*1}や退職後の救急を含む診療において、ICT技術と社会イノベーションが効率的・効果的にあいつた、健康管理と治療のシームレスな対応が求められています。

我々 PHR協会は、今回の講演会を通じて、生活・就業の場で日常発生する健康情報、定期的な健康診断成績、および医療・介護情報 (PHR^{*2}) を蓄積・活用し、有機的に連携する仕組み作りを提案致します。

*1 「事業場における治療と就業のための両立支援ガイドライン」：2016年厚生労働省公表

*2 PHR: Personal Health Record

2018年2月15日(木曜日) 13:00~17:00 定員200名

一般の方：参加費 2,000 円 (PHR協会会員は無料ですが、申し込みが必要です。)

JR 品川イーストビル20階 (日立製作所) 大ホール
東京都港区港南二丁目18番1号

No.	開始時間	タイトル	時間	講師
1	13:00	本日の挨拶・テーマについて	5	安藤 裕 (一社)PHR協会理事 埼玉メディカルセンター放射線治療科 診療部長
2	13:05	全国展開企業の産業医からみた PHR活用と課題 —これまでとこれから—	60	宮本俊明 先生 新日鐵住金(株)君津製鐵所 総括産業医 (東日本エリア統括産業医)
3	14:05	健康・医療・介護分野におけるデータ利活用 —世界最先端IT 国家創造宣言・官民データ活用 推進基本計画を踏まえて—	60	山田栄子 先生 内閣官房 IT戦略室 参事官
休憩 20分				
4	15:25	今、健診機関に求められるもの —限らない連携を求めて—	30	福田崇典 先生 全国労働衛生団体連合会 副会長 (社福) 聖隷福祉事業団専務理事 保健事業部長
5	15:55	両立支援ネットワークにおける PHRの活用	20	織田 進 (一社)PHR協会 代表理事 福岡産業保健総合支援センター 所長
休憩 5分				
6	16:20	ラウンドテーブル PHR構築と活用への課題 「国民目線のPHR構築・活用の主役は誰か」	40	司会：安藤 裕 各演者・産業医・医学研究の先生方 等
17:00 終了				

第7回 PHR協会講演会 申込み方法

以下のホームページにアクセスし、PHR協会講演会申し込み画面からお申込みください。

<http://www.m-p-o.co.jp/phrj/seminar7/>

一般の方：参加費2,000円（PHR協会会員は無料ですが、申し込みが必要です。）

締切：2018年2月9日(金)

お申し込みの際には、事前の決済が必要で、クレジット決済・コンビニ決済・ペイジー決済などが選べます。

医療情報技師更新ポイントが必要な方は、医療情報技師登録 NO. をご用意ください。

【ご注意!】事前申し込みの方のみ、資料を当日お渡しいたします。

当日受付の方は、混雑解消のため、名刺をお預かりするか、
受付用紙に必要事項をご記入いただけます。

【会場案内】



一般社団法人 PHR協会 PHR協会講演会事務局
横浜市都筑区茅ヶ崎東1-10-26 (株式会社エム・ピー・オー内)
E-mail: info@phrj.org
Tel. 045-517-3246